

最初の勇気

徳島県 佐古小学校 6年 柴田 秀明

ガタンガタンガタン……。

(どうしよう、どうしよう)。ぼくはあせっていた。(今度こそ……)。

ぼくは去年、愛媛県に旅行したときに路面電車に乗った。初め、車内は空いていたので、ぼくは(やったあ)と思い、席に座った。ところが、駅にとまるごとに少しずつ混んできた。

ぼくの座っているところはシルバーシートではなかったけれど、もしお年寄りが乗ってきたら、席をゆずることができるかなと思うと、どきどきしてきた。だんだん車内が満員電車なみに混んでいく。お年寄りも何人か乗ってきたが、立っている位置はぼくが座っているところからはなれている。間にほかの人たちもいたので、席をゆずることはできなかった。

そのとき、お年寄りにまだ近い位置にいた父が、何のためらいもなくすっと立ち上がり、お年寄りのもとへ近づいて、声をかけて席をゆずったのだ。ぼくはとてもおどろいた。ふだんからは想像できない父の姿だったからだ。すごく感心した。

父の行動がきっかけになったのか、次にお年寄りが乗ってきたときに、若い男の人5人ほどがいっせいにババッと立ち上がり、お年寄りに席をゆずろうとした。お年寄りはびっくりしていたけど、うれしそうにニコニコしながら席に座った。ぼくは、何人もがいっぺんに立ったことに少しふきだしそうになりながらも、世の中にはやさしい人が、たくさんいるんだなあと感心した。父の姿を見て、席をゆずる勇気が出たのかもしれない。

それから何駅かすぎたけど、ぼくの近くにはお年寄りが来なかった。次こそは、次こそは、ぼくの近くに来てくれますように、と願うようになっていた。

とうとうぼくの近くにお年寄りが近づいてきた。二人連れだったが、となりの母もすっと立ち、ぼくもいっしょに立ち上がり、席をゆずることができた。おばあさんたちはとても感謝してくれた。ぼくは達成感でうれしくなったし、同時にほっとした。

この体験を通してぼくは、人はきっかけがあれば、ためらわずに人に親切にすることができると思った。自分が人に親切にすれば、自分も満足できるし、自分の行動がきっかけになって、ほかの人にも親切なことを行う気になってくれるかもしれない。

しかし、最初に行動するのは勇気が必要だ。いいことをしようとしても人目が気になってしまうので、不安になったり迷ったりしてしまう。だからぼくは、最初に何の気なしに席をゆずることができた父をすごいと思う。最初に行う人は、「ゆずってあげよう」ではなく、「自分がその人に座ってほしい」という気持ちで行動しているのかもしれない。ほかの人にどう見られるのかとかいちいち気にしないのだろう。人としてカッコいいと思う。

ぼくも父の姿を見習って、これからは一番初めに行動できる勇気をもっていきたい。